

## 平成26年度 第4回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成26年8月28日（木） 13：00～15：30

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（6名）五十音順

尾崎 博（国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

川村 孝（国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか10名が出席

4 議題

（1）「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について（ロードマップ）」の改定について

（2）その他

5 議事概要

（1）「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について（ロードマップ）」の改定について

○ 事務局から、平成26年6月27日の第1回、8月6日の第2回の調査・研究企画会議の審議を踏まえ作成した「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について（ロードマップ）」の改定案（たたき台）を提示し、審議を行った。

○ その結果、調査事業、研究事業の基本的考え方について、以下の3項目（目標）として整理することが決定された。

① 危害要因・曝露実態の評価に必要な科学的知見の集積

② 健康影響発現のメカニズムの解明

③ 新たなリスク評価方法の確立

○ また、調査・研究企画会議構成員から、国際的な動向を踏まえ食品安全行政の10年後のあるべき姿をいかに記載すべきか、我が国特有の課題に対応したリスク評価を海外に発信すべき等の意見があり、事務局でこれらの意見を取りまとめ、引き続き審議していくこととなった。

(2) その他

- 尾崎構成員から提示・説明のあった研究事業に関連する各種様式（応募書類様式、年次計画書、研究成果中間報告書及び研究成果報告書）の改定案について審議を行った。
- その結果、改定の趣旨について了承され、具体的な改定案については、本日の審議を踏まえて今後事務局において検討していくこととなった。

－以上－

(注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)